

横浜国立大学 インフラ長寿命化計画(行動計画)

令和5年3月
国立大学法人横浜国立大学

国立大学法人横浜国立大学インフラ長寿命化計画(行動計画)

I. はじめに

老朽化するインフラに関する政府全体の取組としては、平成 24 年 12 月の中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故を契機として、国民生活や社会経済活動を支えるインフラに関する維持管理等の方向性を示す基本的な計画である「インフラ長寿命化基本計画(インフラ老朽化対策の推進に関する関係府省庁連絡会議決定)」(以下「基本計画」という。)が平成 25 年 11 月に策定され、これに基づき、文部科学省としての「行動計画」が平成 27 年 3 月に策定された。

この行動計画において、国立大学法人等に対して、平成 28 年度までに管理施設の長寿命化のための中長期的な取組の方向性を定める「行動計画」及び行動計画に基づき平成 32 年度までに個別施設毎の具体的な対応方針を定める「個別施設計画」の策定が求められている。

そのことを踏まえ、本学の状況を見ると、主要キャンパスである常盤台団地は、キャンパス移転のため、1969 年～1979 年までの 10 年間で一斉に整備され、その内の一部が建設後 50 年を超過し、多くの建物が更新時期を迎えようとしている。

施設の老朽化により、教育研究活動への悪影響や、場合によっては、人命に影響を与える重大な事故等が発生するおそれがあるなど、その対応のための計画的な修繕や老朽化対策は喫緊の課題となっている。

このため、常盤台キャンパスマスタープラン 2016 における「インフラストラクチャー計画」や「施設整備基本計画」の項目において、施設の長寿命化に向けての基本的な考え方を整理してきたところであるが、政府の「基本計画」及び文部科学省の「行動計画」の記載事項を踏まえ、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする計画として、新たに「国立大学法人横浜国立大学インフラ長寿命化計画(行動計画)」を策定するものである。

II. 計画の範囲

1. 対象施設

原則として、本学が保有する全キャンパス(団地)の内、次の主要な団地を対象とする。

常盤台団地、立野団地(横浜小学校)、鎌倉団地(鎌倉小・中学校)、大岡団地(横浜中学校、特別支援学校)

2. 計画期間

令和 9 年度(2027 年度)までを計画期間とする。

Ⅲ. 施設の現状と課題

1. 老朽化の状況

(1) 建築物

a. 全団地の概要

本学は延べ面積で約 26 万 1 千㎡の建物を保有している。

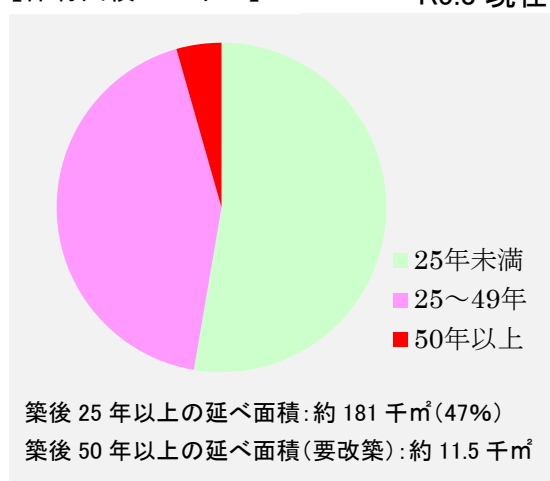
現時点(令和 5 年 3 月現在)で改築の検討対象である築後 50 年以上の建物の延べ面積は約 11.5 千㎡、全体の 4.4%程度であるが、ほとんどが常盤台へのキャンパス移転により一斉に整備されたものであるため、20 年後には築後 50 年以上の建物が約 99 千㎡、全体の約 38%、現時点の約 9 倍となる。

さらに、一般的に大規模な改修が必要となる築後 25 年以上の建物については、実に約 16 万 2 千㎡、全体の 94%にも及ぶことになる。

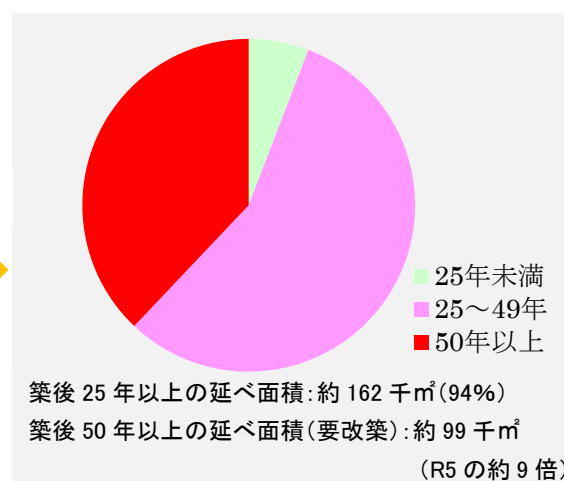
耐震改修を必要とする建物は、平成 26 年度までに全て耐震補強を完了した。

【保有面積 261 千㎡】

R5.3 現在



20 年後

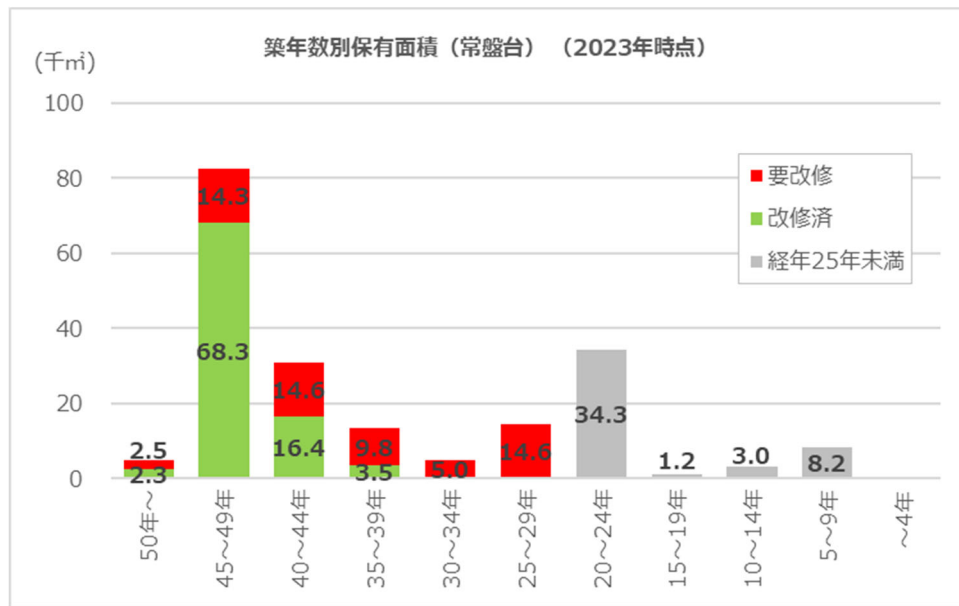


b. 常盤台団地

常盤台キャンパスは、全ての学部・大学院が集約した本学で最も大きなキャンパスであり、延べ面積で約 19 万 8 千㎡(112 棟)を保有し、本学全体の 8 割を占める。

現在の常盤台キャンパスは、当時のゴルフ場跡地への移転統合計画によって整備された。1969 年の大岡(弘明寺)地区からの事務局移転を皮切りに、1974 年清水が丘地区からの文系学部移転、1979 年の工学部移転まで 10 年を要し実現したものである。

建築後 25 年以上が経過した建物は 151 千㎡で常盤台の 76%を占める。その内、既に全面的な改修が済んだ建物(「改修済み建物」という。)は 90 千㎡である。今後、全面的な改修が必要な建物(「要改修建物」という。)は、61 千㎡で常盤台の 31%を占める。

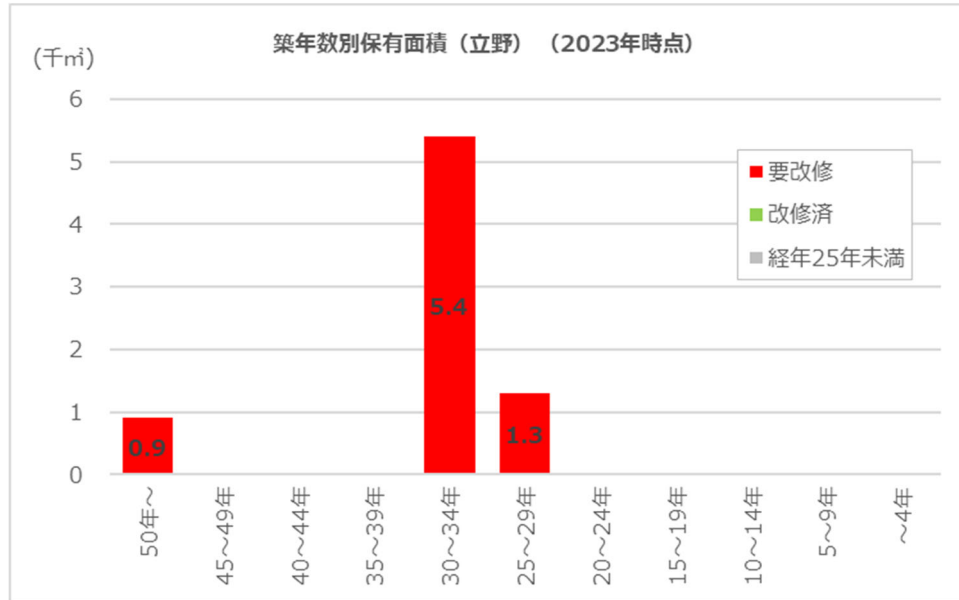


常盤台団地配置図

c.立野団地(横浜小学校)

立野団地は、延べ面積 7.6 千㎡、棟数 6 棟、建築後 25 年以上が経過した建物は 7.6 千㎡で、全体の 99%である。この内、要改修建物は 7.6 千㎡である。

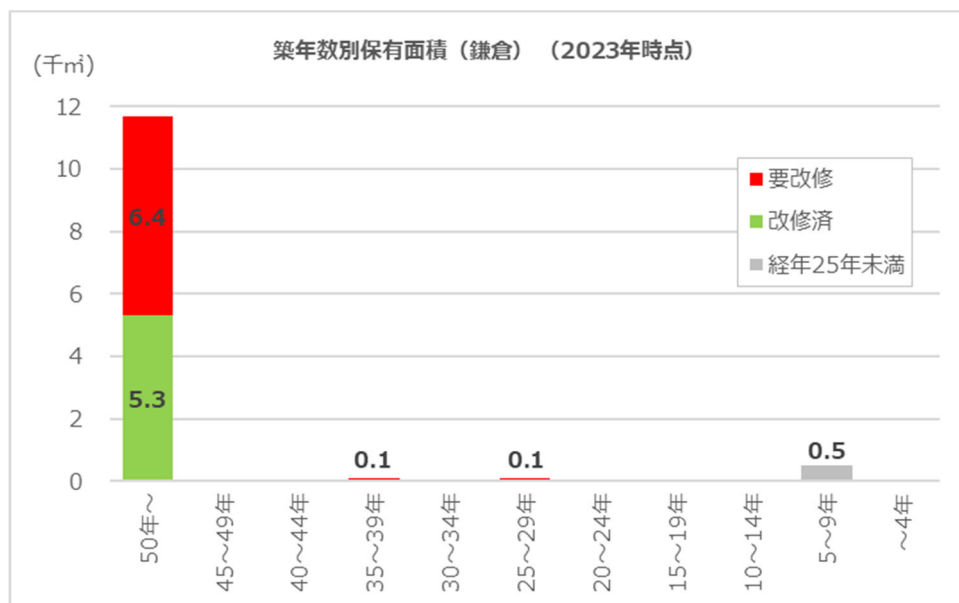
体育館(916 ㎡)については建築後 58 年を経過しているため、改修等について検討する必要がある。



d.鎌倉団地(鎌倉小・中学校)

鎌倉団地は、延べ面積 12.4 千㎡、棟数 6 棟、建築後 25 年以上が経過した建物は 11.9 千㎡で全体の 96%である。その内、要改修建物は 6.6 千㎡で全体の 54%である。

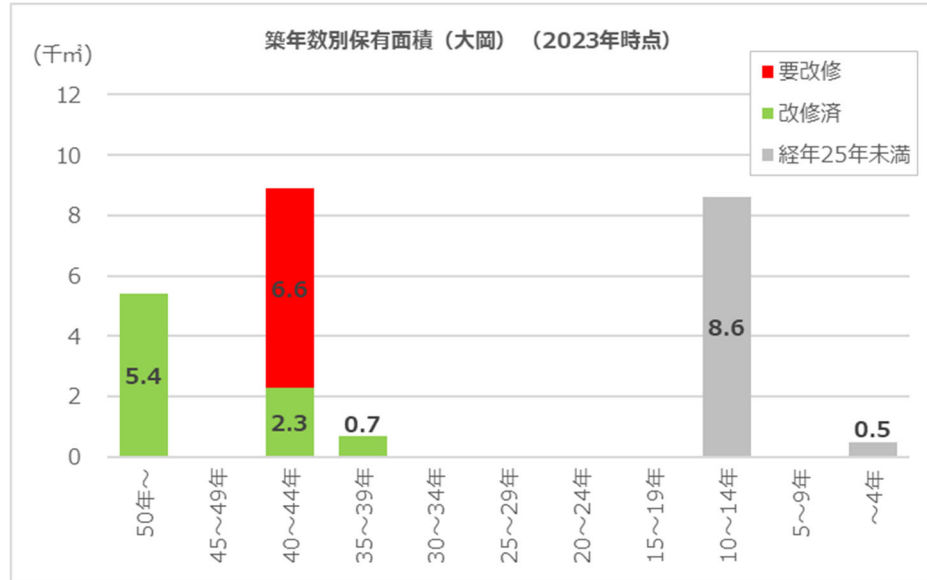
鎌倉中学校校舎(4,855 ㎡)、鎌倉中学校体育館(798 ㎡)については、当初建築年より 55～56 年経



過しているため、鎌倉小学校体育館(772 ㎡)と合わせて改修等について検討する必要がある。

e.大岡団地(横浜中学校、特別支援学校)

大岡団地は、延べ面積 24.1 千㎡、棟数 13 棟、建築後 25 年以上が経過した建物は 15 千㎡で全体の 62%である。要改修建物は 6.6 千㎡で全体の 27%である。



(2) ライフライン(常盤台団地)

キャンパスの基幹設備であるライフライン (給排水、ガス、電力、通信の主要幹線)の配管・配線について、常盤台キャンパスでは設置されてから最長で 50 年を超過している。

共同溝内に設置されている配線・配管類は目視による老朽化の確認が容易であるが、埋設配管・配線等については劣化状況が十分に把握できていないのが現状である。

常盤台団地の主な配管・配線類について経過年数を以下にまとめる。

a.給排水・ガス設備

法定耐用年数について、屋外給排水管・ガス管は 15 年である。

屋外給排水、ガス配管については設置後 25～30 年が計画更新年数と定義されている。[出典：建築物のライフサイクルコスト 国土交通省大臣官房官庁営繕部]

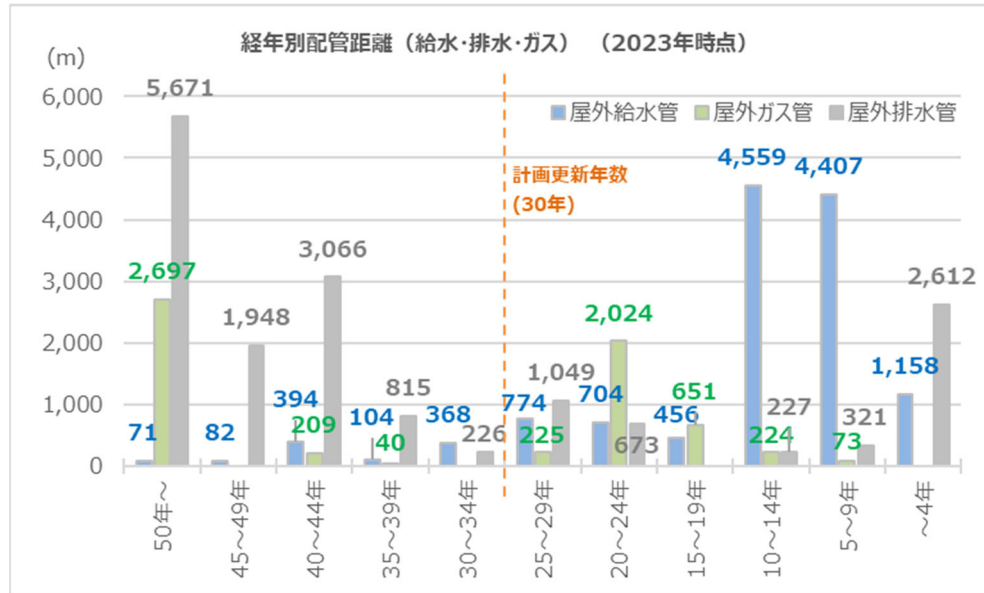
法定耐用年数及び計画更新年数を超過している割合(%)は、各々屋外給水配管(15 年経過 23%、30 年経過 8%)、屋外ガス管(15 年経過 95%、30 年経過 48%)、屋外排水管(15 年経過 81%、30 年経過 71%)となっており、30 年経過した配管等は更新を検討する必要がある。

屋外給水管は平成 24 年度より構内主要配管の更新改修工事を実施し、一部建物周辺の配管を除き、更新が進められている。

屋外ガス管は常盤台団地創設期(昭和 48 年(1973 年))に敷設された配管が約半数を占めている。但し、主要配管は共同溝に敷設されており、管内流体の特性から配管の腐食劣化は少なく、ガス事業者による定期的な点検も実施されていることから、更新の検討は必要だが、当面の使用に問題は

無い。

屋外排水管は常盤台団地創設期に敷設(昭和43年(1968年))した配管が大半を占めており、更新を検討する必要がある。このため、平成29年度より年次計画で更新を計画している。

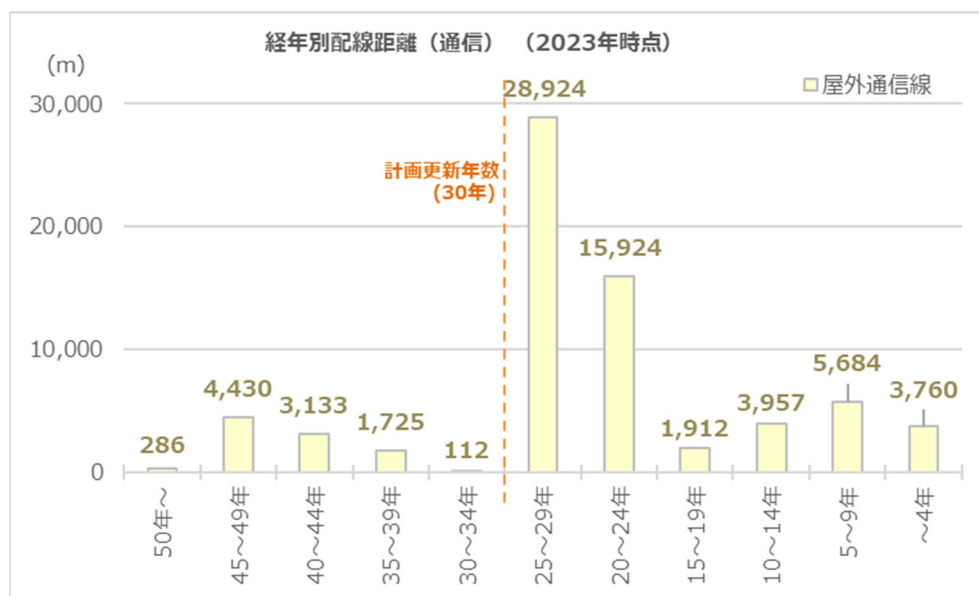
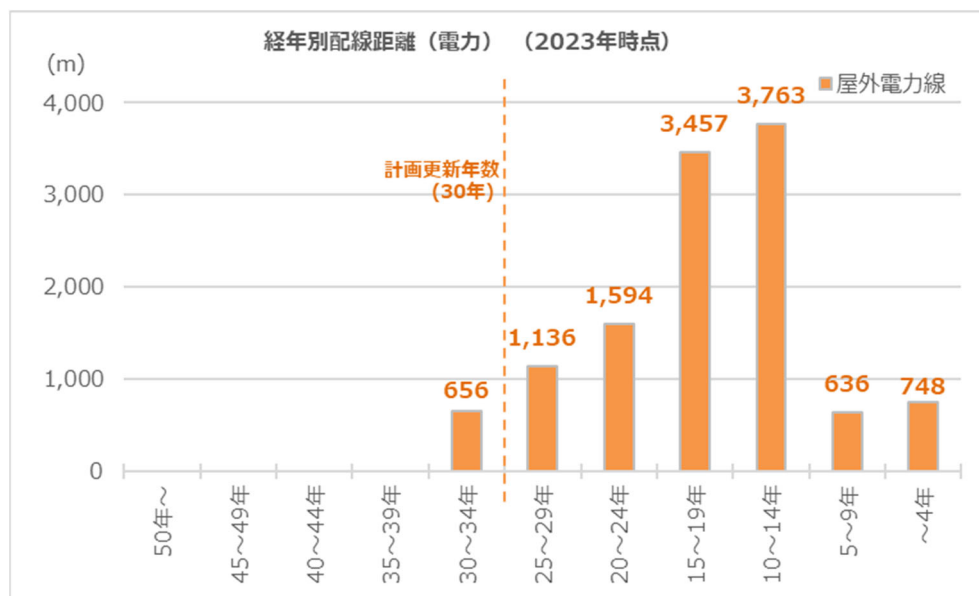


b.電気設備

法定耐用年数について屋外電力線等は15年である。屋外電力・通信配線の幹線について電力ケーブル類の計画更新年数は共同溝・ピット内で20～30年、管路埋設の場合10～20年とされている。

電力配線に関しては、建物改修工事に伴い電気室設備の改修を行う場合に、幹線の引替え更新を実施している。その他についても施設修繕年次計画に基づく更新が実施されており、構内主要電力配線は30年以内での更新改修が図られている。

通信配線は法定耐用年数超過割合が81%、敷設後30年以上経過割合が14%で更新を検討する必要がある。



2. 維持管理の現状と課題

(1) 点検・診断の実施状況

建築物: 建築基準法第8条により、建築物の所有者は建築物の敷地・構造・建築設備を常時適法な状態の維持に努めるよう求められている。本学では、平成28年度より建築基準法12条に基づき点検・検査及び診断を実施している。

建築設備: 自家用電気工作物保安規定等に基づく電気設備点検、消防法令に基づく防災機器点検、フロン排出抑制法に基づくエアコン・冷凍冷蔵機器の管理点検による主要設備点検により機能確認・劣化状況の診断を実施している。

工作物等: 国道1号線に架かる橋梁(通称: 国大橋)については定期点検(5年に1回)を実施し、横浜国道事務所へ報告している。

(2) 対策の実施状況

本学ではこれまで、施設修繕年次計画による計画的な修繕・改修等を実施している。

概ね 30 年毎に必要な大規模改修については、主に施設整備費補助金により、それより短いサイクルで必要な部位ごとの修繕については、LCC(ライフサイクルコスト)や現地点検調査に基づき、学内経費である修繕基盤経費や目的積立金、その他大学改革支援学位授与機構の施設費交付金等により計画的に実施している。

次に、施設整備費補助金で実施した大規模改修や学内経費等による計画的修繕の実績を示す。

大規模改修実績一覧（H18～R4）

団地名	事業名	面積 (㎡)	改修年	改修時 経年
常盤台	理工学部講義棟 A	3,989	R4	48
鎌倉	附属鎌倉小学校校舎	5,419	H25	45
常盤台	教育学部講義棟6号館	1,111	H30	44
常盤台	運動場管理棟	462	H26	43
常盤台	化学棟	6,551	R2	41
常盤台	工学基礎研究棟	1,910	R1	41
常盤台	都市科学部講義棟	2,259	R2	40
常盤台	本部棟	3,223	H24	40
常盤台	教育学部第3研究棟	4,263	R3	39
常盤台	美術棟	2,036	H25	39
常盤台	教育人間科学部事務棟	1,622	H25	39
常盤台	第1食堂	2,036	H25	39
常盤台	生産工学科棟	5,947	H28	38
常盤台	理学実験棟	2,011	H24	38
常盤台	環境情報 4 号棟	1,861	H26	38
常盤台	体育館・武道館	3,882	H21	35
常盤台	経済学部講義棟 2 号館	1,597	H27	35
常盤台	経済・経営学部 1 号館	2,784	H20	34
常盤台	教育人間科学部第 1 研究棟	4,660	H19	33
常盤台	教育人間科学部第 2 研究棟	4,534	H19	33
常盤台	教育人間科学部講義棟 7 号館	3,030	H19	33
常盤台	経営学部 1 号館	3,957	H19	33
常盤台	大型水槽実験棟	1,649	H21	33
常盤台	電子情報工学棟	5,446	H22	33
常盤台	経済学部 1 号館	5,222	H18	32
常盤台	物質工学科化学安全棟	4,316	H22	32
大岡	特別支援学校校舎	2,341	H25	32
常盤台	理学研究棟	2,587	H18	31
常盤台	建築学棟	2,989	H20	31
常盤台	生産工学科 2 号棟	2,132	H21	31
常盤台	物質工学科エネルギー工学棟	1,488	H21	30

計画的修繕等一覧

項目	部位	部局等別	H19年度～H28年度	H29年度～R4年度	
LCC及び現地 点検調査による計 画的修繕	屋根	教育学部	美術棟，音楽棟，教育デザインセンター，特別支援学校校舎（H56建）	教育学部薬品庫	
		経済学部	経済学部講義棟2号館，経済学部新研究棟		
		経営学部			
		国際社会科学部研究科	法学研究棟		
		理工学部・府・研究院	電情棟1階40㎡，低温工学棟，理学実験棟，船舶海洋工学棟，船舶海洋実験棟，大学院工学研究棟，理学研究棟（増築部），理工学部講義棟A（一部），生物・電子情報棟，理工学系事務棟	事務棟（残り），理工学部講義棟A，理工学部講義棟B，材料工学実験棟，機械工場A棟，機械工学実験棟	
		環境情報学府・研究院	環境情報2・4号館	環境情報3号棟，臨海環境センター研究棟	
		都市イノベ	建築材料環境棟，土木構造実験棟，水理実験棟，都市科学部講義棟		
		図書館，各センター等	中央図書館，理工系図書館	情報基盤センター別館，中央図書館（一部），RI教育研究施設，国際教育センター	
		他団地附属学校等	特別支援体育館	横浜中学校体育館	
		学務部，本部共通建物等	運動場管理棟，体育系サークル会館，第2食堂，文化サークル共用施設，峰沢国際交流会館B棟	峰沢国際交流会館共用棟，エネルギーセンター，本部西棟，教育文化ホール，排水浄化センター，給水塔変電室，給水塔ポンプ室	
	トイレ改善	教育人間科学部	教育学部第3研究棟		
		経済学部		経済学部新研究棟	
		理工学部・府・研究院	化学棟，電子情報工学棟，機械工学・材料棟，電子情報工学2号棟	船舶海洋実験棟，機械工場B棟，大学院工学研究棟，機械工学実験棟	
		環境情報学府・研究院	環境情報2・4号館		
		都市イノベ			
		図書館，各センター等	情報基盤センター別館	RI教育研究施設，理工学系研究図書館	
		学務部	武道場1,2階，第2食堂， 南地区管理棟シャワー室，体育サークル会館		
		附属鎌倉小学校	校舎3階トイレ，特別教室棟，教職員用	プール付属屋	
		附属鎌倉中学校	普通教室棟，特別教室棟，教職員用		
		附属横浜小学校	児童用，食堂厨房，教職員用（2,3階）	プール付属屋	
		附属横浜中学校	生徒用，教職員用		
		特別支援学校	生徒用，教職員用	体育館，プール付属屋	
		学務部，本部共通建物等		教育文化ホール，事務局車庫，エネルギーセンター	
		外壁・外部建具	外部建具	第1研究棟（窓3～5F），第2研究棟（窓3～6F）	
	設備	外壁	第3研究棟（補修）	船舶海洋実験棟，機械工場A棟，RI教育研究施設，機械工学実験棟，横浜中学校体育館，機械変電室	
		空調機	大学院棟	経営学部講義棟2号館，経営学研究棟，国際社会科学部研究棟，理学研究棟，共同研究推進センター，法学研究棟	
		照明	化学棟	本部西棟，文化サークル共用施設，横浜小学校体育館	
		バリアフリー対応	スロープ・中学校，理工学部講義棟A廊下 自動ドア 身障者用トイレ 駐車場		
		EV更新	エレベーター更新		
		その他	窓サッシ		
		屋外環境整備	安全対策	フェンス 道路補修 外灯更新 植栽管理	南地区運動場
			アメニティ等改善	インターロッキング舗装 屋外排水	常盤台他
	設備インフラ整備		電気	変電設備改修 共同構内高圧ケーブル引替 特別高圧受変電設備補修 電話交換機設備補修 電気メーター設置 微量PCB調査	変電設備 1系統 変電設備
			機械	共同構内配管改修 ポンプ等更新 水道メーター更新	上水・ガス
		緊急対応修繕経費		雨漏り，ガス漏れ，蒸気漏れ，水漏れ等	
				雨漏り，ガス漏れ，水漏れ等	

(3) 老朽施設の計画的対策の必要性

本学では、これまでも計画的な維持管理に努めてきたが、施設整備をめぐる財政状況が厳しい中、将来にわたって安定的に維持管理を実施するため、多くの管理施設について最大限有効活用を図りつつ計画的な修繕・改修等の対策を進めていく必要がある。

特に基幹設備(ライフライン)の故障・事故等については学内への影響が著しく大きいことや、更新に係る費用、期間が共に大きいこと等により、点検結果の的確な診断による計画的な対策が必要である。劣化進行後の事後的修繕は結果的にトータルコスト増となることから、予防保全の観点から計画的修繕を実施することはトータルコスト削減の取り組みでもある。

IV. 中長期的な維持管理・更新コストの見通し

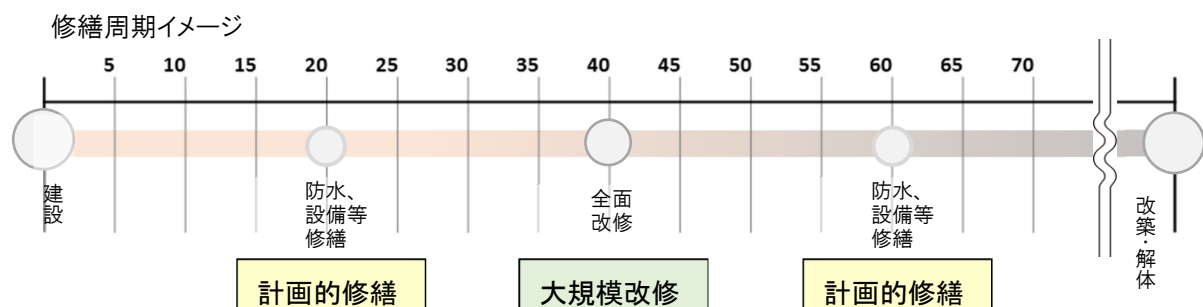
【 】キャンパスマスタープラン 2016 関連項目 以下項同様

1. 計画修繕の実施周期 【4.1.2.2）】【5.2.1】

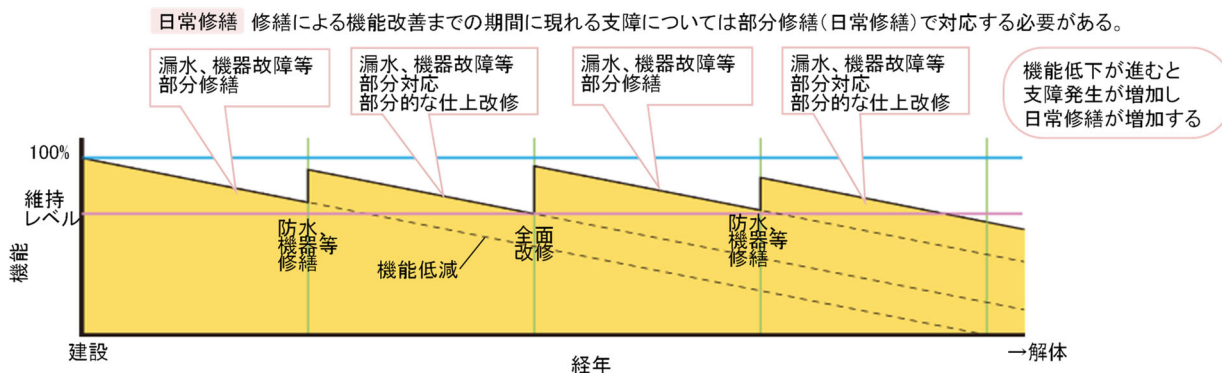
施設の機能を維持するため、経年劣化等により低下した機能を更新する計画修繕が必要となる。
全面改修周期、そのほか個々の機能の耐用年数に応じて適宜更新を行う必要がある。
一般的な耐用年数を考慮しながら、周期は財政面などの実情に合わせ設定する。

施設修繕周期と修繕までのリスク、日常修繕事項				
内容		修繕周期 ※		リスク
		×30	×40	
建物	全面老朽改修	30年	40年	機器故障 器具機能低下 住環境悪化
	内装等(内装、空調設備)	15年	20年	機器故障 住環境悪化
	屋上防水	15年	20年	漏水事故 住環境悪化
インフラ(電気幹線、上水、中水、道路等)		10～30年		故障事故 機能停止
屋外環境整備(グラウンド、緑地)				事故 使用不具合 美観悪化
				メンテナンス 故障部分修理 劣化部品交換
				メンテナンス 劣化部補修

※周期は財政面など実情に合わせ 40 年設定。但し周期が長くなるとリスク・日常修繕は増加する。



経過年による機能低下と修繕による機能改善のイメージ



(キャンパスマスタープラン 2016 5.2)

2. 維持管理・更新等コスト【4.1.2.3）】【5.2.2）】

維持管理に係るコストについて、本学における平成 27 年度施設維持管理経費の実績は 493 百万円、延べ床面積あたり 1,926 円／㎡となっており、国立大学等平均である約 2,450 円／㎡ より 21%程低くなっている。

(千円)

修繕費	点検 保守費	運転 監視費	廃棄物 処分費	緑地 管理費	校地 維持費	清掃費	警備費	電話交 換業務	計
221,072	111,144	9,545	18,778	23,391	30,349	40,918	37,867	0	493,064

改修及び更新コストに関する中長期的なコストの見通しについて、政府の今期のインフラ長寿命化計画の期間(2021～2025)と次期の 5 年(2026～2030)を計画期間とし、これから先の 2023～2030 の期間中に必要なコストを試算する。

各建物の耐用年数を 80 年程度と設定し、20 年毎に改修を 3 回実施する。1 回目(20 年目)及び 3 回目(60 年目)の改修は、各部材の耐用年数を踏まえ、屋上防水や建築設備を更新する小規模な改修とし、2 回目(40 年目)の改修は、屋上防水や建築設備はもとより、内外装を更新する大規模改修とする。その後、80 年目で改築する考え方で試算する。

財源について、20 年目及び 60 年目の小規模な改修は、学内経費等による計画的修繕、40 年目及び 80 年目は、施設整備費補助金による大規模改修及び改築とする。

上記を踏まえると、2023～2030 年度までの今期計画期間中及び次期計画期間中のコストの合計は 123 億円となる。その内、計画的修繕分は 34 億円、大規模改修分は 89 億円となる。

計画的修繕及び大規模改修について、2023 年度から年当たりで平準化すると、それぞれ 4.3 億円、及び 11.1 億円となる。

他にライフライン、屋外環境等維持管理修繕等経費が必要となることに留意する必要がある。

(千円)

団地名	修繕区分	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
常盤台	計画的修繕	926,221	0	16,672	25,942	296,624	913,241	536,386	244,682
	大規模改修	3,050,830	0	331,170	182,590	183,540	1,162,610	587,860	0
	合計	3,977,051	0	347,842	208,532	480,164	2,075,851	1,124,246	244,682
立野	計画的修繕	0	0	0	0	17,486	0	0	0
	大規模改修	0	0	0	0	0	0	1,267,680	0
	合計	0	0	0	0	17,486	0	1,267,680	0
鎌倉	計画的修繕	0	0	0	0	0	8,060	0	0
	大規模改修	1,074,070	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1,074,070	0	0	0	0	8,060	0	0
大岡	計画的修繕	5,280	0	0	0	0	0	0	455,816
	大規模改修	1,024,480	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1,029,760	0	0	0	0	0	0	455,816
各団地 年度合計	計画的修繕	931,501	0	16,672	25,942	314,110	921,301	536,386	700,498
	大規模改修	5,149,380	0	331,170	182,590	183,540	1,162,610	1,855,540	0
	合計	6,080,881	0	347,842	208,532	497,650	2,083,911	2,391,926	700,498
累積		6,080,881	6,080,881	6,428,723	6,637,255	7,134,905	9,218,816	11,610,742	12,311,240

※1 計画的修繕分の単価は約 6 万円／㎡(屋上防水、照明通信器具、空調換気設備更新)

※2 大規模改修分の単価は約 19 万円／㎡ (文科省概算要求単価から算出)

V. 必要施策に係る取組の方向性

1. 点検・診断の着実な実施 【5.2.2】

現在の点検・診断業務を継続し、着実に実施する必要がある。

2. 個別施設計画の策定 【4.1.2.2）】【5.2.2】

本行動計画に基づき平成 32 年度までに個別施設ごとの具体的な対応方針を定める「インフラ長寿命化計画（個別施設計画）」を策定する。個々の建築設備等について、緊急性、事業規模などに基づき優先順位を付した更新計画を順次作成する。

3. 施設マネジメントの考え方

大学のスペースは、大学全体の共有財産であるとの共通認識の下、全学的視点により構成員全体で効果的に使っていく必要がある。

本学にとって限りあるスペースを最大限生かすことは、学生や教員の教育研究活動を充実させるために不可欠であり、そのためにより効果的なスペースマネジメントを進めていく必要がある。

VI. フォローアップ

今後とも、大規模改修や計画的修繕の実施状況についてフォローアップを行う。

なお、ライフラインに係る所要のコストについて把握につとめ、次期計画期間における中長期的なコストの見通し等に反映させる。

また、点検及び診断による指摘事項等について、個別施設計画の策定の際に活用する。

付表 対象施設における建築年及び改修年等一覧

2023

団地名	棟番号	棟名称	構造	階数		建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年	改修年			基準年	経過年
				地上	地下				全面改修	性能維持改修	部分改修		
常盤台	1	経済学部1号館	R	5	1	1,460	7,242	1974	2007	—	—	2007	16
常盤台	2	経営学部1号館	SR	8	0	1,118	3,957	1974	2008	—	—	2008	15
常盤台	3	経済・経営学部講義等1号館	R	2	0	1,687	2,784	1974	2009	—	—	2009	14
常盤台	4	経済学部講義棟2号館	R	2	0	1,049	1,698	1980	2016	—	—	2016	7
常盤台	5	経営学部講義棟2号館	R	4	0	675	1,791	1980	—	—	2000	1980	43
常盤台	7	経営学研究棟	SR	8	0	523	3,491	1997	—	—	—	1997	26
常盤台	8	国際社会科学研究棟	SR	8	0	576	4,263	2001	—	—	—	2001	22
常盤台	10	理工学系事務棟	R	4	0	474	2,130	1979	—	—	1997	1979	44
常盤台	11	機械工学・材料棟	R	6	0	1,353	5,990	1978	2018	—	2006	2018	5
常盤台	12	機械工学2号棟	R	4	0	474	2,132	1978	2010	—	—	2010	13
常盤台	13	機械工場A棟	R	1	0	496	496	1979	—	2022	1996	1979	44
常盤台	14	機械工場B棟	R	1	0	416	416	1979	—	—	1996	1979	44
常盤台	15	材料工学実験棟	R	1	0	166	166	1981	—	—	2019	1981	42
常盤台	16	化学棟	SR	7	0	1,179	6,551	1979	2020	—	—	2020	3
常盤台	17	土木工学棟	R	3	0	510	1,474	1980	—	—	1995	1980	43
常盤台	18	土木構造実験棟	R	1	0	692	692	1980	—	—	—	1980	43
常盤台	19	水理実験棟	R	1	0	120	120	1980	—	—	1999	1980	43
常盤台	20	建築学棟	SR	8	1	387	2,989	1977	2009	—	—	2009	14
常盤台	21	建築構造実験棟	SR	1	0	550	550	1977	—	—	1994	1977	46
常盤台	22	建築材料・環境実験棟	R	2	0	450	517	1977	—	—	1994	1977	46
常盤台	23	船舶海洋工学棟	R	3	0	771	2,046	1976	—	—	1993	1976	47
常盤台	24	船舶海洋実験棟	R	1	0	189	189	1976	—	2020	—	1976	47
常盤台	25	大型水槽実験棟	S	1	0	1,649	1,649	1976	2010	—	—	2010	13
常盤台	26	電子情報工学棟	SR	8	0	766	5,446	1977	2011	—	—	2011	12
常盤台	27	電子情報工学2号棟	R	3	0	481	1,392	1976	—	—	—	1976	47
常盤台	28	特別高圧実験棟	SR	1	0	340	340	1977	—	—	—	1977	46
常盤台	29	グリーン水素研究棟	R	2	0	151	180	1979	—	—	—	1979	44
常盤台	30	機械変電室	R	2	0	132	242	1976	—	2020	—	1976	47
常盤台	31	化工・安工棟	R	5	0	1,072	4,316	1978	2011	—	—	2011	12
常盤台	32	危険物屋内貯蔵所	R	1	0	76	76	1980	—	—	—	1980	43
常盤台	33	機器分析評価センター	R	2	0	842	1,435	1979	—	—	1997	1979	44
常盤台	34	低温工学棟	R	2	0	214	250	1979	—	—	—	1979	44
常盤台	35	工学基礎研究棟	R	6	0	363	1,910	1978	2020	—	2009	2020	3
常盤台	36	学生センター	R	3	0	897	2,011	1974	2012	—	—	2012	11
常盤台	37	理学研究棟	SR	7	0	422	3,222	1975	2007	—	—	2007	16
常盤台	38	理工学部講義棟A	R	3	0	2,109	3,989	1974	2023	—	2012	2023	0
常盤台	39	理工学部講義棟A（107）	R	1	0	316	316	1975	1993	—	1999	1975	48
常盤台	40	理工学部講義棟B	R	2	0	240	502	1980	1998	—	—	1980	43
常盤台	41	機械工学実験棟	R	2	0	373	694	1984	—	2023	—	1984	39
常盤台	42	理工学部講義棟C	SR	3	0	395	966	1987	—	—	—	1987	36
常盤台	43	大学院工学研究棟	SR	9	0	535	4,131	1988	—	—	—	1988	35
常盤台	44	生物・電子情報棟	R	5	0	668	2,474	1996	—	—	—	1996	27
常盤台	46	環境情報1号棟	SR	9	0	1,256	9,456	2000	—	—	—	2000	23
常盤台	47	総合研究棟W棟	SR	7	1	706	4,387	2000	—	—	—	2000	23
常盤台	48	総合研究棟S棟	SR	7	0	938	6,215	2003	—	—	—	2003	20
常盤台	49	総合研究棟E棟	SR	7	0	642	4,049	2003	—	—	—	2003	20
常盤台	50	教育学部事務棟	R	3	0	571	1,622	1974	2013	—	—	2013	10
常盤台	51	教育学部第1研究棟	R	5	0	744	4,826	1974	2008	—	—	2008	15
常盤台	52	教育学部第2研究棟	R	6	0	723	4,556	1974	2008	—	—	2008	15
常盤台	53	教育学部4号館（美術棟）	R	3	0	827	2,036	1974	2014	—	—	2014	9
常盤台	54	教育学部5号館（音楽棟）	R	4	0	305	1,347	1974	—	—	—	1974	49
常盤台	55	教育学部講義棟6号館	R	2	0	781	1,111	1974	2019	—	—	2019	4
常盤台	56	教育学部講義棟7号館	R	3	0	1,235	3,583	1974	2008	—	—	2008	15
常盤台	57	都市科学部講義棟	R	2	0	1,303	2,259	1980	2022	—	—	2022	1
常盤台	58	教育学部附属教育デザインセンター	R	3	0	323	878	1980	—	—	—	1980	43
常盤台	59	教育学部第3研究棟	SR	8	0	529	4,263	1982	2024	—	—	2024	-1
常盤台	60	教育学部別棟	R	1	0	593	593	1952	—	—	1993	1952	71
常盤台	61	教育学部薬品庫	R	1	0	12	12	1974	—	—	—	1974	49
常盤台	62	教育学部工芸用窯置場	B	1	0	14	14	1983	—	—	—	1983	40
常盤台	68	エネルギー工学棟	R	5	0	294	1,488	1979	2010	—	—	2010	13
常盤台	69	高等研究院棟	R	3	0	564	1,512	1996	—	—	—	1996	27
常盤台	70	環境情報4号棟	R	3	0	648	1,861	1976	2015	—	—	2015	8
常盤台	71	環境情報3号棟	R	3	0	333	935	1995	—	—	—	1995	28
常盤台	74	本部棟	R	3	1	1,096	3,513	1972	2013	—	—	2013	10

団地名	棟番号	棟名称	構造	階数		建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年	改修年			基準年	経過年
				地上	地下				全面改修	性能維持改修	部分改修		
常盤台	75	本部東棟	R	3	0	354	961	1986	—	—	—	1986	37
常盤台	76	事務局車庫	R	1	0	211	211	1972	—	2020	—	1972	51
常盤台	77	事務局バス車庫	S	1	0	38	38	1976	—	—	—	1976	47
常盤台	79	守衛所	R	1	0	57	57	1975	—	—	1996	1975	48
常盤台	80	排水浄化センター A 棟	R	2	0	200	357	1977	—	—	—	1977	46
常盤台	81	排水浄化センター B 棟	S	1	0	44	44	1977	—	—	—	1977	46
常盤台	84	野球場用具庫	R	1	0	15	15	1983	—	—	—	1983	40
常盤台	86	中央図書館	R	4	1	4,031	12,076	2002	—	—	—	2002	21
常盤台	87	理工学系研究図書館	R	2	0	1,044	1,930	1979	—	—	1993	1979	44
常盤台	88	体育館・武道館	R	2	1	2,326	3,882	1974	2009	—	—	2009	14
常盤台	89	運動場管理棟	R	3	0	194	462	1971	2015	—	—	2015	8
常盤台	90	プール附属建物	R	1	0	95	95	1976	2010	—	—	2010	13
常盤台	93	第 1 食堂	R	2	0	1,290	2,036	1974	2014	—	—	2014	9
常盤台	94	第 2 食堂	R	2	0	964	1,289	1977	—	—	1993	1977	46
常盤台	98	本部西棟	R	2	0	317	488	1975	—	2019	—	1975	48
常盤台	100	文化サークル共用施設	R	2	0	552	1,104	1975	—	—	—	1975	48
常盤台	101	弓道場射場	S	1	0	97	97	1982	—	—	—	1982	41
常盤台	102	弓道場射場	S	1	0	5	5	1982	—	—	—	1982	41
常盤台	103	モータースポーツ部部室	S	1	0	132	132	1980	—	—	—	1980	43
常盤台	104	体育サークル会館	R	2	0	300	600	1984	—	—	—	1984	39
常盤台	108	大学会館	R	4	1	937	3,094	1989	—	—	—	1989	34
常盤台	109	教育文化ホール	SR	1	1	1,493	1,512	1995	—	—	—	1995	28
常盤台	110	国際教育センター	R	4	0	445	1,526	1995	—	—	—	1995	28
常盤台	120	情報基盤センター別館	R	3	0	418	845	1978	—	—	1995	1978	45
常盤台	121	R I 教育研究施設	R	1	0	304	304	1979	—	2022	—	1979	44
常盤台	122	情報基盤センター	R	3	0	850	1,988	1997	—	—	—	1997	26
常盤台	123	共同研究推進センター	R	3	0	870	2,041	1994	—	—	—	1994	29
常盤台	125	エネルギーセンター	R	2	1	690	1,598	1973	—	—	—	1973	50
常盤台	126	給水塔変電室	R	1	1	48	96	1973	—	—	—	1973	50
常盤台	127	給水塔ポンプ室	R	1	0	35	35	1973	—	—	—	1973	50
常盤台	140	法学研究棟	SR	7	0	305	1,930	1993	—	—	—	1993	30
常盤台	142	納品検収センター	S	1	0	41	41	2008	—	—	—	2008	15
常盤台	143	全学共用棟 A	S	1	0	149	232	2009	—	—	—	2009	14
常盤台	144	環境情報 4 号棟前車庫	S	1	0	34	34	2010	—	—	—	2010	13
常盤台	145	全学共用棟 C	S	2	0	209	387	2012	—	—	—	2012	11
常盤台	146	S ガーデン	S	1	0	368	368	2008	—	—	—	2008	15
常盤台	147	森のルーナ保育園	R	2	0	425	631	2012	—	—	—	2012	11
常盤台	148	倉庫 A	S	1	0	14	14	2012	—	—	—	2012	11
常盤台	149	倉庫 B	S	1	0	12	12	2012	—	—	—	2012	11
常盤台	150	倉庫 C	S	1	0	12	12	2012	—	—	—	2012	11
常盤台	151	体育用具庫 A	S	1	0	3	3	2013	—	—	—	2013	10
常盤台	152	体育用具庫 B	S	1	0	4	4	2013	—	—	—	2013	10
常盤台	153	体育用具庫 C	S	1	0	2	2	2013	—	—	—	2013	10
常盤台	154	体育用具庫 D	S	1	0	6	6	2013	—	—	—	2013	10
常盤台	155	全学共用棟 D	R	3	0	181	530	1982	—	—	—	1982	41
常盤台	156	常盤台インターナショナルレジデンス	R	4	0	2,249	7,817	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	157	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 A	S	1	0	19	42	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	158	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 B	S	1	0	16	37	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	159	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 C	S	1	0	18	37	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	160	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 D	S	1	0	19	33	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	161	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 E	S	1	0	18	33	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	162	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 F	S	1	0	9	19	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	163	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 G	S	1	0	6	9	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	164	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 H	S	1	0	6	12	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	165	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 I	S	1	0	10	18	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	166	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 J	S	1	0	13	20	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	167	常盤台インターナショナルレジデンス駐輪場 K	S	1	0	12	15	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	170	常盤台インターナショナルレジデンスバイク駐輪場 A	S	1	0	8	15	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	171	常盤台インターナショナルレジデンスバイク駐輪場 B	S	1	0	8	15	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	172	常盤台インターナショナルレジデンスバイク駐輪場 C	S	1	0	18	34	2018	—	—	—	2018	5
常盤台	173	エレベーター棟	S	2	0	15	30	2019	—	—	—	2019	4
常盤台団地 計						64,358	199,051						

団地名	棟番号	棟名称	構造	階数		建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	建築年	改修年			基準年	経過年
				地上	地下				全面改修	性能維持改修	部分改修		
立野	3	附属横浜小学校体育館	RS	2	0	741	916	1965	—	—	2007	1965	58
立野	8	附属横浜小学校校舎	R	3	0	3,054	6,672	1989	—	—	—	1989	34
立野	9	プール付属屋	R	1	0	37	37	1990	—	—	—	1990	33
立野	10	プール付属屋	R	1	0	21	21	1990	—	—	—	1990	33
立野	11	陶芸窯庫	B	1	0	10	10	1997	—	—	—	1997	26
立野団地 計						3,863	7,656						
鎌倉	1	附属鎌倉小学校校舎	R	3	0	3,058	5,419	1968	2014	—	—	2014	9
鎌倉	2	附属鎌倉小学校体育館	R	1	0	806	772	1968	—	—	2008	1968	55
鎌倉	3	附属鎌倉中学校校舎	R	4	0	2,072	4,855	1968	1996	—	—	1968	55
鎌倉	4	附属鎌倉中学校体育館	R	1	0	788	798	1968	1996	—	—	1968	55
鎌倉	5	附属鎌倉中学校武道場	S	1	0	450	450	2014	—	—	—	2014	9
鎌倉	12	小中学校プール付属屋	B	1	0	62	60	1984	—	—	—	1984	39
鎌倉団地 計						7,236	12,354						
大岡	1	附属横浜中学校校舎	R	3	0	1,789	5,392	1938	2009	—	—	2009	14
大岡	2	附属横浜中学校体育館	RS	1	0	880	880	1981	—	2022	—	1981	42
大岡	3	留学生会館	R	3	0	1,891	5,009	1981	—	—	—	1981	42
大岡	7	附属特別支援学校校舎	R	2	0	2,033	3,047	1981	2014	—	—	2014	9
大岡	8	附属特別支援学校体育館	RS	1	0	599	599	1981	—	—	—	1981	42
大岡	9	中学校プール付属屋	B	1	0	45	45	1982	—	—	—	1982	41
大岡	10	中学校プール付属屋	B	1	0	19	19	1982	—	—	—	1982	41
大岡	11	附属特別支援学校プール付属屋	B	1	0	47	47	1982	—	—	—	1982	41
大岡	12	附属特別支援学校プール付属屋	B	1	0	16	16	1982	—	—	—	1982	41
大岡	13	留学生会館ポンプ室	B	1	0	13	13	1981	—	—	—	1981	42
大岡	14	大岡インターナショナルレジデンス	R	6	0	1,898	8,477	2010	—	—	—	2010	13
大岡	15	駐輪場	S	1	0	29	57	2010	—	—	—	2010	13
大岡	16	バイク置場	S	1	0	15	30	2010	—	—	—	2010	13
大岡	17	附属横浜中学校武道場	S	1	0	509	450	2020	—	—	—	2020	3
大岡	18	守衛室	S	1	0	4	4	2020	—	—	—	2020	3
大岡	19	物置 A	S	1	0	6	6	2020	—	—	—	2020	3
大岡	20	物置 B	S	1	0	6	6	2020	—	—	—	2020	3
大岡	21	物置 C	S	1	0	7	7	2020	—	—	—	2020	3
大岡	22	物置 D	S	1	0	7	7	2020	—	—	—	2020	3
大岡	23	物置 E	S	1	0	15	15	2020	—	—	—	2020	3
大岡	24	物置 F	S	1	0	7	7	2020	—	—	—	2020	3
大岡	25	物置 G	S	1	0	7	7	2020	—	—	—	2020	3
大岡	26	物置 H	S	1	0	7	7	2020	—	—	—	2020	3
大岡	27	物置 I	S	1	0	7	7	2020	—	—	—	2020	3
大岡団地 計						9,856	24,154						
各団地 合計						85,313	243,215						